



平成 26 年 7 月 7 日

環境政策課

(内 2347)

平成25年度ダイオキシン類環境調査結果について

平成25年度ダイオキシン類環境基準監視調査の結果、大気、水質、底質及び土壌について、全ての調査地点において環境基準を達成していました。

1 平成25年度及び過去の調査結果の範囲

(単位 大気：pg-TEQ/m³ 土壌・底質：pg-TEQ/g 水質：pg-TEQ/l)

調査対象	環境基準監視調査		環境基準
	平成 25 年度	(参考) 平成 12~24 年度	
大 気	0.0060 ~ 0.032	0.0046 ~ 0.14	0.6 以下
水 質	河 川	0.062 ~ 0.075	1 以下
	海 域	0.063 ~ 0.074	
底 質	河 川	0.11 ~ 2.1	150 以下
	海 域	0.11 ~ 4.8	
土 壌	0.018 ~ 3.4	0.0079 ~ 8.9	1,000 以下

2 環境基準監視調査結果

(1)大 気 (単位：pg-TEQ/m³)

採取場所	調 査 結 果			環境基準
	夏 期	冬 期	平 均	
四国中央市	0.0073	0.017	0.012	0.6以下
新居浜市	0.0083	0.016	0.012	
西条市	0.0092	0.011	0.010	
今治市	0.0071	0.026	0.017	
八幡浜市	0.0060	0.013	0.0095	
宇和島市	0.032	0.016	0.024	

(2)水 質 (単位 : pg-TEQ/l)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	蒼社川 (今治市)	0.062	1 以下
	森川 (伊予市)	0.075	
	菊川 (愛南町)	0.065	
海 域	新居浜海域	0.074	
	今治海域	0.074	
	伊方海域	0.063	

(3)底 質 (単位 : pg-TEQ/g)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	蒼社川 (今治市)	0.11	150以下
	森川 (伊予市)	0.36	
	菊川 (愛南町)	2.1	
海 域	新居浜海域	4.8	
	今治海域	0.34	
	伊方海域	0.11	

(4)土 壤 (単位 : pg-TEQ/g)

採取場所	調査結果	環境基準値
四国中央市土居町	0.068	1,000以下
新居浜市新郷	0.52	
西条市周布	0.019	
今治市古国分	0.018	
伊予市森	3.4	
内子町五十崎	0.053	

(備考) 各検体の採取年月日

大 気	夏 期 : 平成25年 8 月 2 日 ~ 平成25年 8 月 27 日 冬 期 : 平成26年 1 月 14 日 ~ 平成26年 1 月 30 日
水質及び底質	平成25年 8 月 12 日 ~ 平成25年 9 月 10 日
土 壤	平成25年 9 月 9 日 ~ 平成25年 9 月 10 日

(参考)

1 調査対象及び調査地点数

調査対象	環境基準監視調査	
	調査地点数	検体数
大 気	6	12
水 質	河 川	3
	海 域	3
底 質	河 川	3
	海 域	3
土 壤	6	6
合 計	24	30

備考 大気については年2回（夏・冬）、その他については年1回実施

2 ダイオキシン類濃度の単位について

○p g（ピコグラム）：1兆分の1グラムを表す単位

○TEQ（毒性等量）：ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算した値であることを示す

3 ダイオキシン類に係る環境基準について

媒 体	基準値
大 気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水 質（水底の底質を除く。）	1 pg-TEQ/l以下
水底の底質	150pg-TEQ/ g 以下
土 壤	1000pg-TEQ/ g 以下

○大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

○土壌にあつては、環境基準が達成されている場合であつて、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/ g 以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

4 毒性等量算定の際、定量下限値未満の数値の取扱いについて

○大気、水質及び底質

定量下限値未満、検出下限値以上の数値は、そのままの値を用い、検出下限値未満の数値は、検出下限値の1/2を用いて、各異性体の毒性等量を算出する。

○土 壤

定量下限値未満の数値は、ゼロとする。